

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和4年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議																																																		
2	開催日時	令和4年6月20日(月) 18時30分～19時45分																																																		
3	開催場所	ZOOMによるオンライン及び富津市役所4階 401会議室																																																		
4	審議等事項	<p>(1) 富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の選出について</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携のための現状把握について</p> <p>(3) 君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集の検討について</p> <p>(4) 君津圏域多職種連携情報共有システム(バイタルリンク)利用の手引きの検討について</p>																																																		
5	出席者名	<p>(委員)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名(敬称略)</th> <th>参加方法</th> <th>氏名(敬称略)</th> <th>参加方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三枝 奈芳紀</td> <td>来庁</td> <td>田中 計</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>川口 哲也</td> <td>来庁</td> <td>熊切 篤</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>水町 裕義</td> <td>来庁</td> <td>大島 拓二郎</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>中野 匡</td> <td>来庁</td> <td>宮野 京子</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>小柴 奈美</td> <td>来庁</td> <td>西川 加代</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>重田 友理</td> <td>来庁</td> <td>山中 しのぶ</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>牧 達人</td> <td>来庁</td> <td>亀田 兼佑</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>有江 直樹</td> <td>来庁</td> <td>和泉 喜章</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>村田 泉</td> <td>来庁</td> <td>小幡 伸吾</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>溝口 麻理子</td> <td>ZOOM</td> <td>三枝 裕文</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>藤野 雅一</td> <td>ZOOM</td> <td>長谷川 栄</td> <td>来庁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(事務局) 中村明美、飛澤賢宏、千葉真知</p>			氏名(敬称略)	参加方法	氏名(敬称略)	参加方法	三枝 奈芳紀	来庁	田中 計	来庁	川口 哲也	来庁	熊切 篤	ZOOM	水町 裕義	来庁	大島 拓二郎	ZOOM	中野 匡	来庁	宮野 京子	ZOOM	小柴 奈美	来庁	西川 加代	来庁	重田 友理	来庁	山中 しのぶ	来庁	牧 達人	来庁	亀田 兼佑	ZOOM	有江 直樹	来庁	和泉 喜章	ZOOM	村田 泉	来庁	小幡 伸吾	来庁	溝口 麻理子	ZOOM	三枝 裕文	ZOOM	藤野 雅一	ZOOM	長谷川 栄	来庁
氏名(敬称略)	参加方法	氏名(敬称略)	参加方法																																																	
三枝 奈芳紀	来庁	田中 計	来庁																																																	
川口 哲也	来庁	熊切 篤	ZOOM																																																	
水町 裕義	来庁	大島 拓二郎	ZOOM																																																	
中野 匡	来庁	宮野 京子	ZOOM																																																	
小柴 奈美	来庁	西川 加代	来庁																																																	
重田 友理	来庁	山中 しのぶ	来庁																																																	
牧 達人	来庁	亀田 兼佑	ZOOM																																																	
有江 直樹	来庁	和泉 喜章	ZOOM																																																	
村田 泉	来庁	小幡 伸吾	来庁																																																	
溝口 麻理子	ZOOM	三枝 裕文	ZOOM																																																	
藤野 雅一	ZOOM	長谷川 栄	来庁																																																	
6	公開又は 非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開																																																		

7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0439-80-1300
9 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
<p>事務局 (中村係長)</p>	<p>定刻となりました。</p> <p>本日欠席される旨ご連絡をいただいている方を除き、お集まりいただいております。</p> <p>本日はZOOMによりご参加いただいている委員の方もおられます。聞き取りにくい等の支障がございましたら、遠慮なく手を上げてアピールしていただければと存じます。</p> <p>会議を始めます前に、配付資料の確認をいたします。</p> <p>事前にお配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 名簿 ● 議題関連資料 ● バイタルリンク利用の手引き <p>です。</p> <p>不足がございましたら、資料をお持ちしますので、挙手をお願いいたします。</p> <p>ZOOMでご参加の方は、本日、会議中に画面共有をいたしますので、画面を見ていただければと存じます。</p> <p>ここで、お配りした名簿について訂正の連絡です。君津木更津医師会の代表者欄ですが、役員改選に伴い、神田豊彦様から天野隆臣様へ変更となっておりますので、訂正をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (中村係長)</p>	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただ今より、令和4年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めます。</p> <p>また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださるようお願い申し上げます。</p>

	<p>お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、健康福祉部長の坂本からごあいさつ申し上げます。</p>
坂本部長	<p>みなさまお疲れさまです。健康福祉部長の坂本です。よろしく願いいたします。本日の推進会議の開催にあたりまして、ご参集いただきありがとうございます。</p> <p>この会議は、私は介護福祉課長だったとき、平成29年に立ち上がりました。</p> <p>委員の皆さまには、気を休めることなく感染症対策に応じただきまして、また、市民のために必要な医療・介護サービスを提供していただいていることにつきまして、改めて心から感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>コロナ感染の状況ですけれども、ここ数週間は落ち着いています。本市においても一桁代で、今日、本市の感染者は6月9日以来のゼロになりました。木更津市は1月2日以来、半年ぶりにゼロでした。ただ、君津圏域はまだまだ県内でも高いという印象を持っております。</p> <p>ワクチン接種については、三枝先生をはじめ医師会の四部会の先生方にお世話になり、順調に進めさせていただいています。4回目についても始めることとし、準備をしております。7月から市内13機関で個別摂取を始めます。集団（接種）は、イオンが富津市の図書間の準備に入るので使えなくなります。それに伴い、集団接種については本庁舎の1階や市民会館を使いまして、7月16日から7月中は土日に2回以上、8月についても集団接種をやりたいと考えております。</p> <p>60歳以上の方と基礎疾患をお持ちの方ということで、対象者を2万2千人と見込んでいます。皆さまからは、高齢者等への接種の声掛けをよろしく願いしたいと思います。</p>

	<p>今日の本題に入りますけれども、昨年度は、君津木更津医師会が主体となって、多職種連携のための「バイタルリンク」というツールについて、複数回、講演等をいただいております。また、本会議にて、在宅医療・介護連携を進めるため様々なご意見をいただいたところです。</p> <p>令和4年度につきましては、本市の3年間の事業の展開の指針となります「第8期介護保険事業計画」の真ん中の年があります。また、第9期介護保険事業計画に係るニーズ調査も予定しております。</p> <p>事業計画の基本理念であります「高齢者が地域でいきいきと輝くまち」を目指していききたいと考えておりますので、今後のご尽力・ご協力をお願いしたいと考えております。</p> <p>引き続きの感染症予防と、これからの時期は熱中症対策に対象者も皆さま方もご留意ください。そして、災害に備えながら、ご尽力いただけますようお願いしたいと思います。以上です。</p>
<p>事務局 (中村係長)</p>	<p>本日は、委員就任後、初めての会議でございます。本年度から、新たに委員を務めていただいた方もおります。本来はお一人ずつ自己紹介をお願いしたいところですが、時間の都合上、名簿の配付を以て紹介に代えさせていただきます。</p> <p>富津市在宅医療・介護連携推進会議第6条第1項に「会長が議長となる」と規定されています。会長、副会長が選任されるまでの間、坂本健康福祉部長が仮議長の職を務めさせていただきますと思いますが、ご承諾いただけますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、会長、副会長が選任されるまでの間、坂本が、</p>

(中村係長)	仮議長を務めます。
坂本部長	<p>仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>議題第1号「富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の選出について」を議題とします。</p> <p>事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>ご説明させていただきます。</p> <p>富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第5条第1項に、「連携推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とありますので、会長及び副会長を委員の互選により当選人を決定していただきたいと存じます。</p>
坂本部長	互選の方法には、選挙と推せんがありますが、いかがいたしましょうか。
三枝(裕) 委員	会長、副会長共に、指名推薦の方法がよろしいかと考えます。
坂本部長	ただ今、会長、副会長共に指名推薦の方法が良いのでは意見がありました。いかがいたしましょうか。
委員	(異議なし)
坂本部長	それでは、どなたか会長の推薦をお願いいたします。
藤野委員	昨年度まで会長を務めていただいておりますので、三枝病院の三枝委員を推薦いたします。
坂本部長	ありがとうございます。他に推薦はございませんか。

	<p>ただ今、三枝委員を会長にとの意見がありました。</p> <p>他に推薦もないようですので、三枝委員に会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
坂本部長	<p>ご異議もないようですので、三枝委員に会長をお願いすることといたします。</p> <p>続きまして、副会長の推薦をお願いします。</p>
溝口委員	<p>昨年度まで副会長を務めていただいておりますので、有江委員を推薦いたします。</p>
坂本部長	<p>他に推薦はございませんか。</p> <p>ただ今、有江委員を副会長にとの意見がありました。</p> <p>他に推薦もないようですので、有江委員に副会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
坂本部長	<p>ご異議はないようですので、有江委員に副会長をお願いすることといたします。</p> <p>それでは、会長、副会長が選出されましたので仮議長の任を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局 (中村係長)	<p>当選されました、三枝会長、有江副会長には、恐れ入りますが、前の席へ移動していただき、ひと言ずつごあいさつをお願いいたします。</p>
三枝会長	<p>三枝でございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>コロナも収まりつつあるとはいえ、まだ油断ができない状</p>

	<p>況が続いております。そんな状況ですので、コロナ禍で人と人との交流が少なくなり、介護を必要とする方が孤立しやすくなるかと思えます。今まで以上にこの会が、益々重要になってくるかと思えます。</p> <p>活発な意見をお出しただいて有意義な会議にしていただければと思えますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思えます。</p>
有江副会長	<p>副会長に選任されました有江と申します。コロナ禍の前に三枝先生から（在宅医療について）講演をいただきました。その際、色んなニードの方に集まっていたいで、在宅医療に興味を持っている方が多くいたと思えます。</p> <p>コロナ禍で、そうした動き（講演会など）はできませんでした。コロナ禍で何ができるかを話し合いながら、少しずつ地域の医療・介護連携を進めていければと考えております。よろしくお願ひします。</p>
事務局 （中村係長）	<p>ありがとうございます。それでは、会長、議事進行をお願ひいたします。</p>
三枝議長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。牧委員を議事録署名人に指名しますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 （飛澤）	<p>議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」説明いたします。</p>

議題関連資料 1 ページをお開きください。第 8 期富津市介護保険事業計画において、富津市の基本理念として「高齢者が地域でいきいきと輝くまち」を掲げております。その理念を実現するために、3 つの目標と 7 つの施策を掲載しております。目標 2 「在宅生活が継続できる体制を整備する」ための施策として、在宅医療・介護連携の推進があります。

2 ページをお開きください。訂正がありまして、表の 1 番上の住民基本台帳人口は、令和 3 年 4 月 1 日ではなく令和 4 年が正しい標記ですので、お手数ですが訂正をお願いいたします。令和 4 年 4 月 1 日時点では、富津市の高齢化率は 38.9%となっております。

下のグラフは、富津市の人口の推移を示しております。今後も総人口は減少する一方、高齢化率は上昇、生産年齢人口の割合は減少していくことが見込まれています。

3 ページをお開きください。要介護認定率も概ね右肩上がりで推移しています。

下の図をご覧ください。誰もが住み慣れた地域で暮らすことのできる「地域包括ケアシステム」を構築することを目的に、地域支援事業という市が取り組むべき事業（手段）があります。

市の財政は、お金の使い道を分けせず、全体の収支を 1 つの財源とする一般会計と、独立して経理を行う特別会計とに分かれます。特別会計である介護保険事業は、国が全国一律の基準を定める保険給付費と、市が基準を定める地域支援事業とに分かれます。

4 ページをお開きください。地域支援事業は、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業の 3 つに分かれます。今回、皆さまにご参加いただいている「在宅医療・介護連携推進会議」は、包括的支援事業の 1 つに位置づ

けられています。

下の図は、各事業の連動をイメージした富津市版地域包括ケアシステムです。

地域包括ケアシステムとは、住民が要介護状態等になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域の実情に応じて、住まい・医療・介護予防・生活支援が一体的に提供されるような体制を構築していくことです。

この会議では、赤色の「在宅医療・介護連携推進事業」として、地域相談サポート医設置事業等の活動を行っています。また、君津木更津医師会の事務局長にコーディネーターを務めていただいております。

オレンジ色の「認知症総合支援事業」では、認知症地域支援推進員が中心となり、認知症初期集中支援チーム等により、認知症の早期発見、早期介入等の支援を行っております。

緑色の「生活支援体制整備事業」では、生活支援コーディネーターという役職が地域のインフォーマルサービスを探しています。主に要支援の方が元の生活に戻ることを目標に、集まったインフォーマルサービスの情報を地域包括支援センター等に提供し、ケアプランに取り入れていただけるような活動を模索しています。

青色の「介護予防・日常生活支援総合事業」では、地域包括支援センターや市が、富津市いきいき百歳体操など地域住民の介護予防の活動を支援しています。また、住民主体の活動への補助や、フレイルサポーターの養成も始めました。

こうした4つの事業を進める中で、中央にある地域ケア会議を開き、戦略の立案や課題の抽出等を行っています。

5ページをお開きください。これ以降は、在宅医療を行っている病院、診療所等の数値を図示したものです。後ほど、

ご確認いただければと存じます。

8ページをお開きください。本事業のP D C Aサイクルを通じて、この会議の目標である「住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち」を目指すことを図示したものです。本日の会議は、現状分析等を通じて、施策の立案等を図り、実行につなげていく場と考えております。

スライドでは、D oの「対応策の実施」として4つの施策が明記されておりますので、順にご説明いたします。

対応策①は相談支援です。富津市では、「医療介護連携地域相談サポート医設置事業」というものを行っています。

これは、受診拒否等のケースについて、地域包括支援センターの窓口を通じて、地域相談サポート医に「相談」「質問」ができる仕組みです。木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市が君津木更津医師会へ事業を委託しています。

①のとおり、まずは富津市のサポート医である三枝先生への相談や質問をいただきます。次に②のとおり、難事例と判断された場合は、医療相談検討会議に諮られ、ケースの助言や訪問支援（アウトリーチ）に対応いただきます。

地域相談サポート医は、三枝先生のほか君津木更津医師会の医師8名に務めていただいております。

9ページをお開きください。対応策②は、地域住民の普及啓発です。過去には資源リストやマイライフノートを配布したほか、講演もいただきました。

対応策③は、医療・介護関係者の情報共有の支援です。千葉県補助を受けながら、君津木更津医師会にて、バイタルリンクというI C Tツールを導入していただきました。バイタルリンクについては、後ほど触れますので、説明を割愛します。

10ページをご覧ください。先ほどの地域相談サポート医

設置事業のチラシです。サポート医である三枝先生をはじめ、君津四市 8 名の医師に相談や質問ができます。料金は無料ですので、気になることがあればお気軽にお問合せください。

1 1 ページをお開きください。

これは、富津市民がどの自治体にある医療機関から医療サービスを受けているかを示した表です。

往診や在宅患者訪問診療の提供割合は、約 7 0 % が市内の医療機関ということが分かります。一方、入退院支援については、市内の実績がありません。看取りやターミナルケアの提供割合は、市内医療機関が約 4 0 % です。

1 2 ページをお開きください。歯科訪問診療の提供割合は、約 7 0 % が市内ですが、訪問歯科衛生指導料は、市外の歯科衛生士等による提供割合が上位を占めております。

在宅の患者のために薬剤師がご自宅で薬剤指導をいただく、在宅患者訪問薬剤管理指導料については、君津市、木更津市に次いだ提供実績となっています。

1 3 ページをご覧ください。ここからは、富津市民がどの自治体にある介護機関から介護サービスを受けているかを示した表です。

訪問介護は市内の事業所の提供割合が約 5 6 %、訪問リハビリテーションは、市内の事業所の割合が約 9 0 % となっています。

1 4 ページをお開きください。訪問看護の提供割合は、約 7 5 % が市内です。

1 5 ページをお開きください。通所介護の提供割合は、約 8 0 % が市内、通所リハビリテーションは、約 8 5 % が市内です。

1 6 ページをお開きください。居宅介護支援というケアマネジャーのサービス提供割合は、約 8 0 % が市内です。居宅

	<p>療養管理指導の提供割合は、市内が約60%で、医療職の方が管理指導をされています。</p> <p>17ページをお開きください。短期入所生活介護の提供割合は、約80%が市内です。</p> <p>18ページをお開きください。福祉用具貸与は鴨川市がトップですが、訪問入浴介護の提供割合は、約90%が市内です。</p> <p>19ページをお開きください。特養、老健といった施設サービスの提供割合は、65%前後となっています。</p> <p>現状把握について、説明は以上です。</p>
三枝議長	説明は終わりました。質問はございませんか。
委員	質疑なし
三枝議長	<p>それでは、各委員からそれぞれの所属団体等で令和3年度及び今年度に取り組んでいる施策について、情報交換を始めます。</p> <p>議題関連資料の32ページをお開きください。</p> <p>まずは、医師会から説明いたします。</p> <p>医師会としては、先ほど市の方から説明がありました、相談サポート医の活動がメインとなっています。相談事業、情報連携としてのバイタルリンク、バックベットの設置、アウトリーチと言って、問題のある所にサポート医が行って対応するといった事業を行っております。</p> <p>資料にある在宅医療介護ケア委員会では、情報交換ということで、5月と1月にバイタルリンクの勉強会を行いました。</p> <p>君津木更津地区4市ケアマネジャー協議会・君津地域包括支援センター連絡協議会、これも情報交換の会で、昨年度は</p>

	<p>7月と9月に会を開催しました。今年度もコロナでどうなるかはわかりませんが、検討していきます。以上です。</p> <p>続きまして、認知症疾患医療センターは、事務局にお願いします。</p>
事務局 (飛澤)	<p>本日、細井委員が欠席ですので、事務局から説明いたします。認知症疾患医療センターにおきましては、多職種症例勉強会というものを開催していただいております。医療・介護の多職種が構成団体となりまして、事例を通して制度や倫理の課題などを考える場となっております。</p> <p>昨年度は、8月と2月にZOOMで開催いただきました。令和4年度は、8月と2月に開催予定と伺っております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。歯科医師会については、水町委員にお願いします。</p>
水町委員	<p>歯科医師会です。歯科口腔機能管理研修事業というものを行っております。歯科のない病院や介護施設等に勤務されている方へ、口腔に関する知識や技術向上のための研修を行っております。</p> <p>コロナ禍ですので、令和4年2月7日から3月14日まで、オンデマンドオンライン研修を行っております。今年度も同様の研修を行う予定です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。薬剤師会については、大島委員にお願いします。</p>
大島委員	<p>薬剤師会の大島です。よろしく申し上げます。</p> <p>まず、地域包括支援センターと連携した取組みを昨年は予</p>

	<p>定しておりましたが、コロナ禍で集まって行うという機会がありませんでした。今年も行おうと考えておりますが、内容未定です。</p> <p>相談ということで、地域包括支援センター等でアドヒアランス（患者が治療方針の決定に賛同し、積極的に治療を受けること）が低く、適正な薬剤管理ができないといった方に対して、薬剤師を派遣するといったことがあり、山久薬局とかずさ（薬局）富津店、大塚薬局が窓口として開いております。それ以外の薬局に関しても、各々の所で相談があったかと思えます。内容については完全に把握はしていませんが、こちらも継続実施予定です。</p> <p>地域に根ざした在宅訪問薬剤師の育成に関しましては、在宅を行っている薬局を中心に、手を上げてこれから行いたいというところがあれば、実際に訪問し、継続して行っているという状況でございます。</p> <p>次のページに行きまして、お薬教育については、去年はコロナ禍でお年寄り対象の説明会はできませんでしたが、要望があれば、やり方を考えて行おうと考えております。</p> <p>お薬相談会について、去年はワクチン接種があり開催していませんでしたが、今年8月7日と28日、10月30日、市役所で行う特定健診のときに薬剤師を派遣して行います。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございます。訪問看護については、西川委員または重田委員にお願いします。</p>
西川委員 重田委員	<p>令和4年度の実施として、院内でカンファレンスを実施し、連携を図るところで、退院時カンファレンス、事例検討カンファレンスなどを行っております。</p>

	<p>地域の訪問看護ステーションとの交流を通じて、互いの理解を深めるという取り組みも行っております。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。リハビリ職団体については、牧委員にお願いします。</p>
牧委員	<p>リハビリ職団体としては、まず、君津地域リハビリテーション連絡協議会という会を行っております。地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力や、リハ職不在の関係機関への相談支援を目的としております。昨年度は、5月と12月に書面開催されております。今年度も5月と12月に書面開催を予定しているとのことでした。</p> <p>続きまして、君津圏域公開フォーラム、こちらは君津地域広域支援センターを中心に行っております。コロナ禍以前は、君津中央病院にてフォーラムという形で行っていましたが、昨年度は令和3年10月2日と10月3日にオンデマンド配信で開催されております。今年度は令和4年12月から令和5年1月まで、オンデマンド配信において「地域で育む子供の成長～お子さんの困った行動～」を予定しているとのことでした。</p> <p>続きまして、地域リハビリテーション調整者養成研修会、これは県からの委託事業で、千葉リハを中心に行っている研修会です。地域リハを提供するに当たり、その効果判定を明確にする指標の構築を目的に行われております。昨年度は、令和4年3月16日から3月27日まで、オンライン配信で開催されました。今年度は、現時点では未定と聞いております。</p> <p>最後になります。君津圏域PTOTST連絡協議会主催の研修会です。POS連の会員間の連携を図るとともに、技能・</p>

	<p>知識の向上を目的にそのとき関心の高いテーマについて、研修会を行っております。昨年度は、令和4年1月21日に、地域ケア会議についての研修を行いました。ZOOMでのオンライン研修です。今年度は秋ぐらいになると思いますが、ZOOMを使用した研修会を行う予定です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。三師会については、事務局にお願いします。</p>
事務局 (飛澤)	<p>本日、地引委員が欠席ですので、代わりにご説明いたします。34ページをお開きください。三師会につきましては、市の要介護認定者数やサービス受給者数等の情報を共有させていただいております。令和3年度は、コロナ禍により実施しませんでした。</p> <p>4部会の先生方、医療機関の皆さまにおかれましては、ワクチン接種にご協力いただいております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。訪問介護については、亀田委員にお願いします。</p>
亀田委員	<p>亀田です。訪問介護は、各事業所での研修または外部での研修というところで、例年通り実施しております。内容としては、介護の職業倫理、特定事業所加算についての研修も行っております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。富津市ケアマネジャー協議会については、有江委員にお願いします。</p>
有江委員	<p>富津市ケアマネジャー協議会です。医療介護連携を含めて資質向上の研修を実施しております。令和3年8月24日、</p>

	<p>君津四市合同ケアマネジャー協議会の研修を実施しております。また、令和4年2月15日には、市職員を講師にお招きし、ケアマネ業務についての研修会を行いました。</p> <p>令和4年度につきましては、7月21日に研修を実施予定です。その後、8月2日に君津四市合同ケアマネジャー協議会研修を実施する予定です。その他に令和4年11月、令和5年2月にも研修会を実施する予定となっております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございます。介護老人保健施設については、村田委員にお願いします。</p>
村田委員	<p>老人保健施設においては、安房地区のブロック会とそれに伴う研修ということですが、昨年度はコロナのためほとんどやっておりません。今後、コロナの状況によっては、深くやっていく予定です。</p> <p>老健では医療依存度が高くなってきておりますので、そうした研修が強くなっていく予定となっております。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございます。地域包括支援センターについては、事務局にお願いします。</p>
事務局 (飛澤)	<p>「医療・介護連携地域相談サポート医設置事業」については、先ほど説明させていただいた通りです。令和3年度は毎月第1木曜日に初期対応、第3木曜に医療相談検討会議を行ってございました。また、サポート医の先生方を7名から8名に増員しました。令和4年度の取組予定ですが、バイタルリンクの導入により、日時を指定せずに、随時、サポート医の先生に相談・質問を受け付けていただくという体制を構築しました。</p>

	<p>35ページになりますが、訪問支援・アウトリーチということで、地域相談サポート医への相談案件のうち、受診拒否の事例等を対象に、サポート医の先生方に訪問支援を行っていただいております。随時、相談させていただきたいと思っております。</p> <p>ZOOMでご参加いただいている包括の方々、補足はよろしいでしょうか。</p>
三枝委員	大丈夫です。
三枝議長	よろしいでしょうか。市の取組みについても、事務局をお願いします。
事務局 (飛澤)	<p>認知症メモリーウォーク千葉in富津ということで、介護施設関係者、ケアマネジャー、有料老人ホーム関係者の方々に実行委員会を組織いただきまして、メモリーウォークの開催に向けて話し合いを進めていただいております。</p> <p>概要としては、認知症に対する偏見を取り払い、認知症の理解を深めるため、市民啓発を目的に、イオンモール富津等でパレードを実施予定です。令和3年度はコロナ禍で中止となってしまいましたが、令和4年度は4月から実行委員会会議を開催していただいております。9月23日、認知症メモリーウォークを開催予定ですので、皆様にもご参加いただけたらと思います。</p> <p>最後に、本日の会議、在宅医療介護連携推進会議です。令和3年度は3回、会議とワーキンググループを開催しました。令和4年度も各ワーキンググループを開催していきたいと考えております。以上です。</p>
三枝議長	ありがとうございました。以上で説明は終わりました。質

	<p>問はございませんか。</p>
委員	<p>質疑なし。</p>
三枝議長	<p>質問もないようですので、以上をもって議題第2号を終了します。</p> <p>続きまして、議題第3号「君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集の検討について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>議題関連資料20ページをお開きください。</p> <p>木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市（君津四市）では、「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」を目指し、医療・介護の関係者がよりスムーズに連携できるよう、令和2年度から君津四市共通のエチケット集を作成しました。</p> <p>その後、バイタルリンクというICTツールが導入されたことから、エチケット集の内容を見直す必要が出てきました。そのため、本日の会議で皆さまからご意見を頂戴し、いただいた意見を君津四市に挙げさせていただきます。君津四市で協議のうえ、今後の会議で、修正したエチケット集を改めてご提案したいと考えております。</p> <p>では、内容の説明に入りますので、22ページをお開きください。「1. 基本的なエチケットとして、「(1) 医療と介護のお互いの専門性を、思いやりをもって理解し、丁寧な対応を心がけましょう」「(2) 書面や口頭でのやり取りをする際に、お互いにわかりやすい言葉で伝えるように努めましょう」といった共通事項を標記しています。</p> <p>23ページをお開きください。「2. 医師への連絡について」</p>

ですが、ケアマネジャーが別紙を使用し、主治医の先生にお知らせしましょうといった内容を記載しています。

「3. サービス担当者会議について」ですが、ケアマネジャーから主治医の先生に日程をお知らせし、参加をお願いするといった記載となっています。

「4. 同行受診について」は、24ページをお開きください。(2)のとおり、介護職の方におかれましては、独居高齢者等で主治医の確認の必要性が生じた際は、可能な限り同席し、診察内容を関係者で共有いただくといった内容を記載しています。

「5. 入退院時について」では、「千葉県地域生活連携シート」の作成について触れています。

「6. 急変に備えた対応について」では、(1)のとおり、介護職の方は、ケアプランに緊急連絡先や主治医を記入しておきましょう、終末期の場合、医師との連絡方法を確認しておきましょう、といった記載があります。医療職の方は、(6)(7)のとおり、緊急を要する症状や急変時の連絡について、あらかじめケアマネジャー等にお知らせいただく、といった記載をしています。

25ページをお開きください。「7. ICTの活用について」が新たに追記した部分です。

(5)をご覧ください。バイタルリンクで連絡を取り合う場合のポイントとして、「あいさつ文や前置きは入力しません」「端的に要件を入力します」といったポイントを記載しています。

26ページをお開きください。参考情報としまして、個人情報保護に関する関係法令等を記載しております。

27ページ以降につきましては、エチケット集の様式となっております。

	<p>富津市では、良い意味で医療職と介護職の距離が近く、普段から連絡を取っていただいているケースが多いかと存じます。そのため、過去の会議ではほとんどエチケット集を使用する機会はないといった意見もいただきました。ただ、君津四市共通の基盤として、エチケット集は引き続き周知していきたいと考えております。</p> <p>エチケット集について、何かお気づきになった点がございましたら、些細なことでも構いませんので、ご意見を頂戴できたらと存じます。説明は以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。要は25ページのICTの活用についてということが新たに加わったということですね。今この場でお気づきになったことはございますでしょうか。</p>
委員	<p>質疑なし</p>
三枝議長	<p>ないようでしたら、またよく読んでいただいて、何かあれば事務局にお願いしたいと思えます。それでは、以上をもって議題第3号を終了します。</p> <p>続きまして、議題第4号「君津圏域多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）利用の手引きの検討について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>別刷りの「君津圏域多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）利用の手引き」をご用意ください。これに沿って、説明いたします。</p> <p>こちらにつきましても、エチケット集と同様に、本日の会議で皆さまからご意見を頂戴し、君津四市で協議いたします。今後の会議で、君津四市にて修正した手引きを改めてご提案したいと考えております。</p>

1 ページの「はじめに」をご覧ください。医療と介護の切れ目がなく、誰もが安心して在宅療養ができる君津圏域を目指し、君津四市で「在宅医療・介護連携推進会議」を設置し、連携の推進について取り組んでいます。

その中で、令和2年度から君津木更津医師会が中心となり、千葉県の補助を受けてICT情報共有システム・バイタルリンクを導入いたしました。患者の状態の変化等に応じ、医療・介護機関の間で速やかな情報共有体制の構築を進めています。

令和5年度から千葉県の補助が終了し、君津四市にてバイタルリンクを引き継いでいくこととなります。

そのため、本手引きは、ICT情報共有システムを適切に利用できるよう、必要事項等をまとめたものとなっております。なお、内容については先行実施している市原市の手引きを参考としております。

2 ページをお開きください。導入したシステムは、帝人ファーマ株式会社のバイタルリンクです。

「2 システムの設計と体制」をご覧ください。

S 管理者である医師会は、管理者の登録ができます。管理者は、居宅療養者（患者）から同意書を取って患者のグループ（部屋）をつくったり、利用者（各医療機関や訪問看護ステーション、介護事業所の専門職）を登録したりすることができます。

3 ページの「4 セキュリティについて」をご覧ください。バイタルリンクは厚労省の基準に準拠しており、高いセキュリティを誇ります。ただし、バイタルリンクを操作する私たちが、誤って別の患者の情報を書き込む等のないよう、注意する必要があるかと考えます。

4 ページをお開きください。「1 必要な設備と要件」ですが、

バイタルリンクを利用するためのパソコンやタブレットは、利用者である皆さまにご準備いただくこととなります。「2システム利用に係る動作環境」については、記載のとおりです。

6ページをお開きください。管理者として、患者のグループを自由につくる権限を持つ場合は、費用負担が発生します。バイタルリンクの利用者としては、費用負担はありません。

7ページをお開きください。これは、医療・介護の事業所の方々がバイタルリンクの運用を始めるまでの流れを図示したものです。

まず、事業所から「利用申込書・誓約書」を市または地域包括支援センターへ提出していただきます。次に、市等がIDやパスワードを発行し、帝人ファーマ（株）へフォローを依頼します。帝人ファーマ（株）から、電子証明書の発行等のサポートを行っていただきます。

患者のグループを自由につくる、管理者としての機能を希望する場合は、医師会へ利用申込書を提出していただきます。

8ページをお開きください。ここからは、実際にバイタルリンクの画面を共有しながらご説明いたします。

①のとおり、管理者または利用者は、個人情報の取扱いについて居宅療養者へ説明し、同意書を取得します。③のとおり、管理者はバイタルリンクで患者の部屋を作成し、連携が必要な医療機関や介護事業所である利用者を招待します。（この部屋では、袖ヶ浦市が管理者となり、君津四市の行政や包括を招待しています。）

（バイタルリンクの画面を共有しながら説明）

9ページの（3）「みんなの部屋」の利用をご覧ください。居宅療養者の部屋は、管理者に招待された機関しか入ることができませんが、「みんなの部屋」では、バイタルリンクに登録しているすべての関係機関との意見交換、メッセージの発信

等ができます。

10ページをお開きください。バイタルリンク上でZOOMを利用したWEB会議の予約・参加が可能です。参加者には開催案内のメールを自動で送信します。また、カレンダー上から会議の予約・参加が可能です。

(1) 活用例に記載のとおり、今後は介護サービス利用者のサービス担当者会議や、入院患者の退院時カンファレンス等に活用が見込まれます。

11ページの「(1) 連絡帳の書き込みについて」をご覧ください。鉛筆マークをクリックすることで入力ができます。タイムライン形式で、ファイルの添付もできます。PDFのほか、写真や千葉県地域生活連携シート等のエクセルファイル等が添付可能です。

12ページをお開きください。(3)のとおり、カレンダー機能で患者の訪問診療等の予定を共有したり、(4)のとおり薬の情報を写真で登録することもできます。「2の書き込みのポイント」等については、先に説明したエチケット集と重複するので、説明は割愛します。

ここで、画面の共有は終了します。

手引きの14ページをお開きください。個人情報の取扱い方針として、バイタルリンクに登録しているすべての関係者が、個人情報の取り扱いについて、バイタルリンクを利用する際に遵守し、適切に管理するために必要な事項を定めています。

「1個人情報とは」では、個人情報を生存する個人に関する情報で、個人を識別できるものと定義しております。

15ページをお開きください。4バイタルリンク「システムを利用する全ての者の責務」として、厚労省や総務省のガイドライン等を遵守しなければなりません。(1)のとおり個

個人情報の利用目的を特定し、(2)のとおり利用目的は説明書を用いて居宅療養者へ説明しなければなりません。

16ページをお開きください。(3)ではバイタルリンクシステムの利用者が、個人データについて、安全及び正確性の確保に必要な遵守すべき事項を列挙しています。

(4)では個人データの取り扱いに関しては本人の同意が必要である旨、記載しております。

17ページをお開きください。(5)では、本人からの求めにより保有個人データの開示義務を明記しております。

18ページをお開きください。「君津圏域多職種連携情報共有システム利用規約」は、第1条にあるとおり、在宅療養にある者の在宅療養を支えることを目的に、バイタルリンクを利用する場合に遵守する事項について定めるものです。これについては、説明は割愛いたします。

22ページをお開きください。これ以降は、バイタルリンクの活用にあたっての様式を掲載しております。

30ページをお開きください。君津木更津医師会をはじめ、君津四市の行政、地域包括支援センターの問い合わせ先を載せております。

以上が、手引きの解説になります。バイタルリンクは令和3年度から導入を開始したばかりであり、まだ皆さまにも浸透していないツールかと感じております。しかし、使いこなせば様々な業務に応用でき、汎用性が高いシステムです。

事務局としても、この在宅医療・介護連携推進会議において、市内の医療・介護の関係者を対象に、バイタルリンクの勉強会等を検討していきたいと考えております。

バイタルリンクやこの手引きについて、何かお気づきになった点がございましたら、些細なことでも構いませんので、ご意見を頂戴できたらと存じます。説明は以上です。

三枝議長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明でお分かりになりましたか。私も未だに使いこなせているとはいえない状況ですけれども、こういったものは走りながら考えていく、慣れていくしかないと思いますので、大事なのは、まず登録していただくことかと思います。登録を希望される方は、市に連絡すれば色々と教えていただけるわけですか。</p>
事務局 (飛澤)	<p>はい。ご連絡をいただければ。</p>
三枝議長	<p>また簡単に登録できるようなマニュアルを作ってください、できるだけ多くの方が登録し、連携できるのが理想的だと思います。</p> <p>少しずつ勉強しながら進んでいくしかないかと思いますので、よろしくをお願いします。何かこの場で質問等がありますでしょうか。</p>
委員	<p>質疑なし</p>
三枝議長	<p>質問もないようですので、以上で本日の議題はすべて終了しました。委員の皆さまから「その他」でご意見、連絡事項が何かありますか。</p>
委員	<p>意見なし</p>
三枝議長	<p>事務局から何かありますか。</p>
事務局 (中村係長)	<p>2点、ご連絡いたします。</p> <p>1点目は、施策検討のためのワーキンググループの開催についてです。今後、委員の皆さまには名簿に記載の各部門(在</p>

	<p>宅医療・介護連携部門と認知症施策部門）に分かれていただき、ワーキンググループの開催を予定しております。ワーキンググループにおいて、課題解決のために実施すべき施策について、皆さまからアイデアを頂戴できればと考えております。</p> <p>開催時期について検討し、追って事務局から改めてご案内いたします。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>2点目です。議題関連資料30ページをお開きください。</p> <p>令和4年度の新規事業として、介護予防把握事業を行います。目的としては閉じこもり等の支援が必要な方を早期に把握し、介護予防活動等へつなげることです。75歳以上の高齢者のうち、要介護認定等を受けていない方、約6,000人を対象に、元気度チェック回答用紙という調査票を郵送します。</p> <p>5の方法をご覧ください。回答のあった方を分類し、その方の状態により、②のとおりアドバイス票を郵送します。また、③のとおり未回答者の実態把握も検討します。6の実施時期に記載のとおり、元気度チェック回答用紙の郵送は、7月下旬から8月上旬を予定しております。</p> <p>31ページをご覧ください。こちらが、郵送する元気度チェック回答用紙の案です。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、もしこの回答用紙等に関する問い合わせがありましたら、回答の促しなどにご協力いただきたく、お願い申し上げます。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
<p>三枝議長</p>	<p>ありがとうございます。事務局からの説明について、質問はありますか。</p>

委員	質疑なし
三枝議長	<p>意見もないようですので、以上をもちまして、令和4年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。お疲れさまでした。</p>
<p>事務局 (中村係長)</p>	<p>皆さまお疲れさまでした。</p> <p>ZOOMで参加の皆さまについては、各自退室の方をお願いいたします。ご来庁されている方については、お帰りの際、職員通用口からお帰りいただければと思います。</p> <p>以上をもちまして、会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>